



テニスを愛する人々

私は大きなアカデミーに入っているわけではないので、自分と同じ年の子たちと練習することがありません。

私の学校には、私と同じくらいテニスに打ち込んでいる生徒がいないので、私のテニスに対する強い気持ちを話せる友達もいません。

しかし私は、JOP の大会に参加してから、すばらしい友達とたくさんめぐり会えました。

もちろん試合中は勝つために戦いあいますが、しんけんにテニスに打ち込む仲間だからこそ、気持ちが通じ合うことに気づきました。私の友達はみな、私と同じテニスプレーヤーで、JOP の大会で顔を合わせるたびに同窓会にきたような気持ちになるのです。

JOP の大会ですばらしいところは、試合のためにいろいろなところに出かけていけることでもあります。私は神奈川県に住んでいますが、私の両親は試合のために、東京、埼玉、山梨、群馬、千葉、そして秋田など、あらゆるところに連れて行ってくれます。

私はテニスが大好きです。また、旅行も大好きです。JOP は私が大好きなことを2つとも楽しませてくれます。

私の心に残っている思い出は、高崎での大会でのことです。相手は私よりも上手い選手で、しかも2ゲーム先をこされていたところからばんかいして勝つという、初めての経験をしました。その選手は私よりも小柄な選手でしたが、とてもパワーのある選手だったので、いつもの私の戦略では負けていたと思います。しかし父が相手の弱点を見つけ、試合前にアドバイスしてくれたので、スライスショットをたくさん使って、カウンターパンチを効かせる方法でやったら、決勝で勝つことができました。

大会での優勝はもちろん最高でしたが、私は会場で生まれて初めて“車イステニス”を見たことが1番心に残っています。

私は、たとえどんな障害があってものりこえてプレーするほど、テニスというスポーツを愛している人々を見て、感動したし、（自分ももっとがんばるぞ！）とはげまされました。車イスでプレーしている人たちを見て、（自分の夢をかなえるためにどんな大変なことがあっても、私はあきらめないぞ！！）と心に決めました。

私は高崎インドアテニスクラブのみなさん、スポーツサンライズのみなさん、そして友達に、テニスを通してすばらしい経験をするチャンスを与えてくれて感謝しています。またここまで私を育ててくれたコーチである父に、とても感謝しています。それから、私にこのテニス人生を授けてくれた神様にとっても感謝しています。